

小春日和に桜の植樹祭

亀山公園

亀山公園で11月20日、秋晴れのさわやかな天候のもと、「日本さくらの会」から贈られた1,000本の桜（ソメイヨシノ）の植樹祭が行われました。

この日は、さくらの会の福田一会長とともに「日本さくらの女王」福地佳子さん（22歳・横浜市）も見えられ、会場は一段と華やかに。桜の花をかたどった記念碑の除幕式のあと、緑の少年隊が見守る中で、さっそく福田会長をはじめ、渡辺副知事、山内市長らが桜の苗木を植えました。また、女王さんは植えられた若木に「^{せいぎ}生水の水、を注がれ、一日も早く美しい花を咲かせますようにと祈られました。



市民総ぐるみで 雪を克服しましょう

『おおの 雪とのふれあい』はもう届きましたでしょうか。冬支度の合間にぜひご一読ください。

さて、市では今冬も雪害対策計画を柱に、土木事務所など関係諸機関と連携して万全の除雪体勢を整え、雪から皆さんの生活を守ります。でも、その機動力を100%発揮するためには、何よりも皆さん一人ひとりの協力が不可欠です。

毎年くどいようですが、次のことは雪の季節を乗り切るための最低限のルールです。いま一度ご確認ください。



路上駐車は除雪の大敵

道路に1台でも車があると、そこから先は除雪できません。昼夜を問わず路上駐車はやめましょう。

また、道路際に車庫や塀、お地藏様などがある所には、赤布などで目印をし、除雪車が誤って壊すことのないようご配慮ください。裏作農地の所にもお忘れなく。

責任を持って雪の始末を

市街地での屋根雪降ろしは、町内ごとに計画を立て、一斉に行いましょう。道路へ出した雪は、流雪溝や最寄りの雪捨て場を利用して、各自が責任を持って始末してください。除雪車通過後、玄関先や車庫前に残った雪も同様に。

流雪溝への転落事故を防ぐため使用中は赤布などで目印をし、使用後は必ずふたをしましょう。な



お、水があふれるトラブルをなくすため、関係町内で排雪時間などを十分話し合っておきましょう。

防火施設の除雪も完全に

万が一の火事に備え、各所に設けられた消火栓や防火水槽いつでも使えるよう、町内や地区内で協力し合って除雪しておきましょう。流雪溝の水にもご配慮を。

「生命の水」を大切に

地下水による個人の融雪は、井戸枯れを防ぐため、市の条例で禁止されています。各家庭や地域の生活用水を守るため、日ごろの節水にもご協力ください。

暮らしの窓

相談

ある業者から代金引換郵便物が主人あてに届けられました。配達員から商品の代金2万9,000円を請求されたので、てっきり主人が購入の申し込みをしたものと思いその場で代金を支払いました。

包を開けてみると、お経のビデオテープが入っていました。帰宅した主人に確かめてみると、そんな注文はしていないとのこと。送り主の業者にも連絡の取りようがなく、何かだまされたようなのですが、よい解決方法は…。

回答

このような代金引換郵便ですと、つい代金を払ってしまいかねませんね。この手の商法が目立ち始めたのは1年ほど前からです。

業者が一方向的に商品を送り付ける商法は「ネガティブ・オプション」と呼ばれます。これは、注文もしない商品を送り付け、代金を請求する一種の押し売りです。

「代金引換郵便」の悪用商法にご用心

この場合、もちろん代金を支払う義務はありませんし、商品を送り返す必要もありません。ただ、その商品は3カ月間は手を付けずに保管しなければなりません。そ

んな長期間もと思う人は、業者に対して引き取り請求をすれば1カ月間の保管で済みます。上記の期間が過ぎてなお引き取らなければ自分で処分してもかまいません。

しかし、今回の相談のような代金引換郵便物は、配達員に代金を請求させることから、つい代金を即座に支払ってしまいがちです。そして、一度代金を支払ってしまうと、契約上の承諾、つまり買う意思があったとみなされ、代金を取り戻すのは困難となります。

郵便に対する信頼性を悪用した代金引換郵便商法に引っ掛からないためには、心当たりがなければ受け取りを拒否するのが大切です。

(市役所生活環境課内消費者相談センター ☎66-1111内線 463)

JR勝原駅横に三月完成

木造モデル施設建設

人と木のふれあいの場

装ともに大野や県内産のスギなどをふんだんに使い、木が醸し出すぬくもりを最大限に生かします。屋根は伝統的な切り妻様式を採用、雪を十分考慮してカラー鋼板、文字ぶき、とし、木造建物の持つ味わいと、周囲の自然景観とに調和するよう工夫してあります。

建物の1階には、集会や研修ができる和室(12畳)のほか、スギの間伐材やブナ、トチなどの広葉樹材を使って木工細工ができる木工室(26平方メートル)を設けます。

2階には多目的ホール(120平方メートル)を設け、雨や雪の時などの

レクリエーション会場や中会議場あるいは木工品などの展示会場として利用できるようになります。

一方、建物の周辺には、勝原の表情豊かな四季の変化に歩調を合わせるよう、コブシやケヤキ、サクラなどの樹木を植えていきます。また、芝生広場(160平方メートル)を設け、野外ステージやベンチ、水飲み場などすべて木材を利用した付属施設を整備します。

工事費は、センターの建物関係が5,000万円、周辺整備・付属施設が1,000万円の合計6,000万円で、来年3月に完成の予定です。



コミュニティーセンター完成予想図

市は一昨年、木造住宅の新たな時代を切り開くため、地域住宅計画(HOPE計画)を策定しましたが、今年度はその建築仕様に沿ったモデル施設として、JR勝原駅横に「五箇コミュニティーセンター(仮称)」を建設することになり11月5日、起工式が行われました。

新築されるセンターは木造2階建て延べ341平方メートルで、外観、内

演劇なかま

チャップス

11月29日、市民会館で今年最後のこども芸術劇場「つつぱり天使サミン」の公演が行われました。幕が降りた後も、子供たちと若いお母さん方の拍手は鳴



りやまず、主役のサミンを演じた前田新一さん(25歳・高砂町)をはじめとする「チャップス」のメンバーの顔に満足感があふれます。

チャップスは、昭和56年に岩田美子さん(不動堂)を中心に結成されたアマチュア劇団です。その年の12月13日に行われたこども芸術劇場に創作劇「さよならブチブ

チ島」で初出演して以来、毎年欠かさず市民会館の舞台上に登場、その都度創作劇を披露してきました。

脚本はもちろん照明や音響、道具、衣装などはすべてメンバーの手づくり。また、チャップスが演

グループ登場

じる劇には大勢の子供が登場することも大きな特徴です。今回も、50人の子供たちが「サンタクロースのおどり」などで会場の雰囲気盛り上げました。

岩田さんは「演劇好きの人ならだれでも舞台に立えます。裏方さんも大歓迎。でも、大道具を製作したり保管したりする場所がなくて…」とPRとともに悩みもちょっぴり話されました。

入会や子供の出演申し込みなどは米村和由さん(28歳・富鳴 ☎66-4124)へどうぞ。

カメラで

昭和六十二年（一九八七年）も余すところあと一カ月。この一年、皆さんのご家庭や地域ではどんなことがありましたか。市政にもいろいろな出来事がありました。このページでは写真を中心に主な内容を振り返ってみましょう。

市政日誌 '87

- 1 □ 2日全国高校サッカー大会に大高出場 15日成人式 18日全国バスケットボール大会に大野クラブ出場 20日県中学スキー競技会で上庄中が男女とも10連覇 31日国鉄バス廃止・大徹関結婚式
- 2 □ 15日市議会議員選挙 □ 月 23日上庄中校舎完成 24日イメージアップ懇話会が「イメージアップ戦略、提言
- 3 □ 8日社会教育推進大会 □ 月 27日住宅と町づくりシンポ 29日たこあげ大会
- 4 □ 1日市休日急患診療所 □ 月 土曜診療開始・「国鉄」から「JR」へ 11～19日亀山さくらまつり 12日県知事、県議会議員選挙 19日市の花コブシ探訪ウォークラリー
- 5 □ 4日市の木ケヤキ探訪 □ 月 サイクリング 10日市の鳥ウグイス探鳥会 17日献穀田御田植式（9月9日抜穂式） 24日名水マラソン
- 6 □ 4日来年8月大野で全 □ 月 国水環境保全シンポ開催が決定 7日市民登山 21日総合体育大会・社会福祉大会 27日青少年健全育成推進大会 28日福祉スポーツ大会



▲ 1月31日 国鉄大野自動車営業所が42年の歴史に幕。お別れバス、



▲ 3月27日 HOPE計画で住宅・町づくりシンポ



▲ 4月4日 市休日休患診療所が土曜診療、開始



▼ 5月24日 第23回越前大野名水マラソンに1,500人が参加。水とみどりの奥越路、を力走しました



▶ シンボルマーク決定

▼ 2月15日 定数削減後初の市議選は、24議席を27人が争う少数激戦



▼ 2月23日 上庄中学校の新校舎完成。切妻屋根の校舎は、周囲の松林と見事に調和



▶ 4月1日 「国鉄」は「JR」として再出発。越美北線もJR西日本の路線として新たな一歩を踏み出しました



振り返る'87

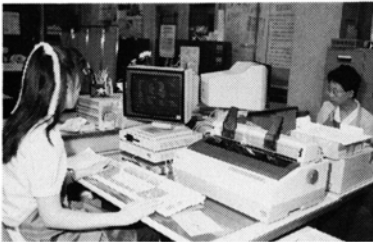


▲6月4日 全国水環境保全島原大会で、次期開催地を大野市に決定

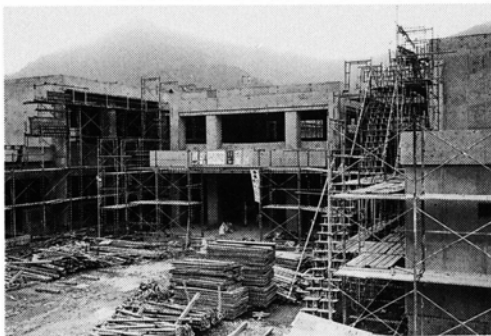


▲9月21日 市観光協会が「レンタサイクル」を開業

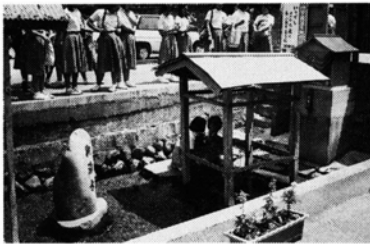
▼10月1日 市役所市民課窓口事務をオンライン化。諸証明が迅速に



▼8月21日に着工の小山小改築工事は、来春3月完成めざし急ピッチ



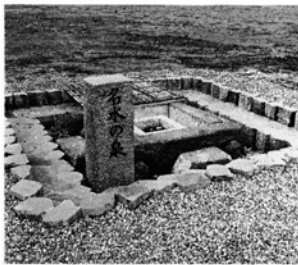
▼7月2日 「御清水」が今度は建設省の「水辺の風物詩30選」に



▼8月6日 「越前大仏」の多田清氏が「市民のために」と市へ20億円寄付



▶10月10日 大野RC、市へ「名水の泉」を寄贈



▼六呂師高原ミニ動物園のウサギ舎で



- 7月 2日「御清水」が建設省「水辺の風物詩30選」に 11日助役に斉藤秀雄氏就任 10～12日市美術展 17日空きビン回収業務開始 25日乗合バスイベント便「宝慶寺座禅号」運行 26日健康づくり市民のつどい・県体自転車競技で大野一般男子優勝 30日第1回リサイクルショップ
- 8月 6日相互不動産社長、多田清氏が市へ20億円寄付 8～16日城まつり 8日越美北線イベント便「丸頭竜号」運行・有終東野球スポーツ少年団全国大会出場 21日小山小校舎改築着工 23日自衛消防操法大会 27日上庄中体育館改築着工・全国リレー競走大会へ有終南小出場
- 9月 1日JR大野駅がレンタサイクル開業 5・6日「雪の降るまちシンポジウム」 19日温泉脈調査 21日市観光協会もレンタサイクル開業 27日六呂師すすきまつり・暴力追放総決起大会
- 10月 1日市役所市民課の窓口事務をオンライン化 10日大野ロータリークラブ、市へ「名水の泉」寄贈 10日健康ウォーク 24・25日三大朝市まつり
- 11月 1～3日市総合文化祭 5日五箇コミュニティセンター（仮称）新築着工 7・8日農林業祭 11日暴力追放市民会議発足 20日亀山で桜の植樹祭
- 12月 （予定）2日第2回リサイクルショップ開催 6日勤労青少年ホーム祭・婦人のつどい 11日～年末年始交通安全市民運動

われら大野人62

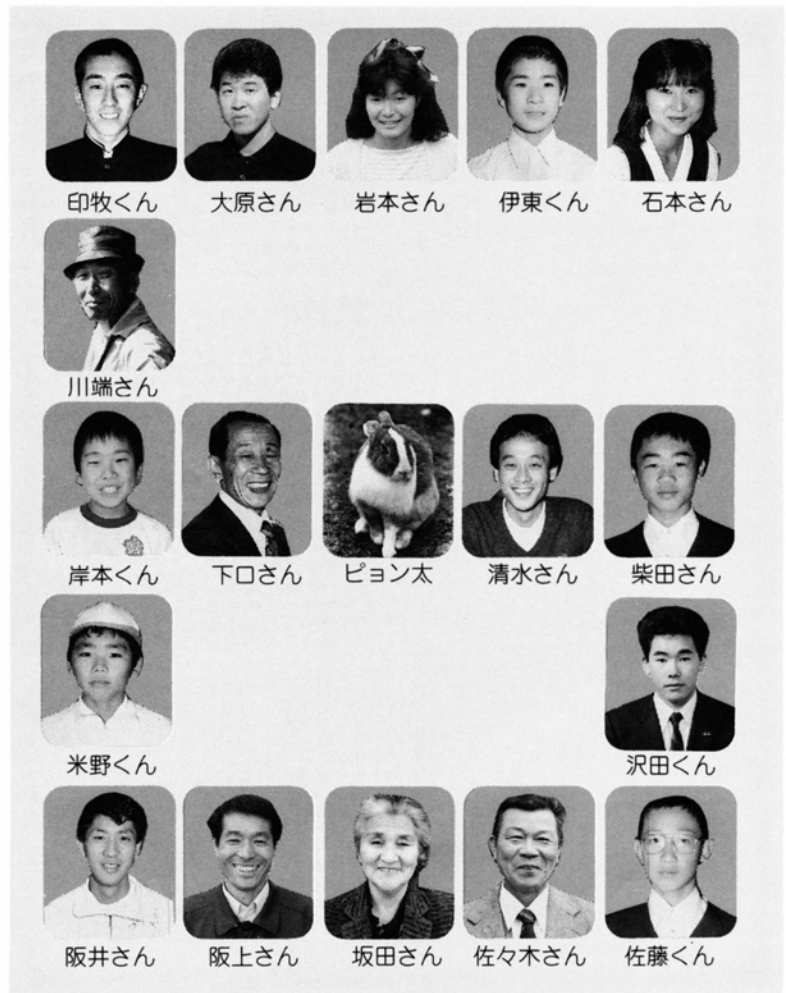
PART I

さようなら62年特集、このコーナーでは、今号と15日号の2回に分けて、今年飛躍した人、頑張った人62人を紹介します。題して「データファイル大野人62」(敬称略)。

- ▷ **石本 直美** (22歳・美川町)
警察署の電話交換嬢。県下青年警察官主張大会で優勝。体験を通して得た職員としての自覚を発表
- ▷ **伊東 信広** (13歳・春日3)
県少年少女囲碁大会の中学生チャンピオン。これで小学校3年のときから連続5年優勝。
- ▷ **岩本 優子** (22歳・明倫町)
県体優勝の一般女子ソフトボール大野市チームの二塁手。県選抜チームに選ばれ、国体へも参加。
- ▷ **大原 鉄男** (30歳・中挾1)
城まつりに協賛して県下4WDジャンボリーを開催。350台の4輪駆動車と2,000人の観衆を集めた
- ▷ **印牧 弥徳** (15歳・西山)
県中学校スキー競技大会男子距離7キロで優勝。東海北陸大会3位ジュニアオリンピック(旭川)8位
- ▷ **川端 義雄** (60歳・春日2)
山を愛して40年。雪国にあって根曲がりのない木を育て、造村地手入れコンクールで林野庁長官賞
- ▷ **岸本 浩彰** (11歳・七坂)
県下の学校花壇コンクールで、春は知事賞、秋は北陸中日賞を得た富田小の栽培委員長。委員13人

- ▷ **米野 貴彦** (11歳・明倫町)
県学童陸上記録会5年男子100メートルに出場。13秒5で優勝。市連体の自己記録を0.8秒縮める好記録

- ▷ **阪井 幸人** (24歳・上麻生嶋)
県クラブ対抗スキー大会男子一部大回転で3年連続優勝。阪谷小でも評判の熱血十ひょうきん先生



印牧くん 大原さん 岩本さん 伊東くん 石本さん

川端さん

岸本くん 下口さん ピョン太 清水さん 柴田さん

米野くん

沢田くん

阪井さん 阪上さん 坂田さん 佐々木さん 佐藤くん

- ▷ **阪上 昭男** (41歳・富嶋)
国体スキー競技距離成年男子三部で8位入賞。国体15年連続16回出場のパレタン。中日大会は3位
- ▷ **坂田 玉子** (65歳・本町)
江戸末期の大野の住宅地図を作成するなど地道な研究が認められ、福井新聞文化賞・奨励賞を受賞。

- ▷ **佐々木 継治** (52歳・右近次郎)
宮中の新嘗祭にいなめさいに「コシヒカリ」を献上。春には県知事などを招いて田植えをし10月に夫婦で宮中へ
- ▷ **佐藤 昌弘** (12歳・春日3)
県学童陸上記録会6年男子ボール投げで優勝。城まつり協賛市わんぱく相撲大会でも個人優勝。

DATA	
FILE	
	大野人62

▷沢田 光浩 (19歳・菖蒲池)
 県体自転車競技で優勝した大野市チームの最年少選手。プロの競輪選手をめざして特訓中。

▷柴田 勝樹 (12歳・春日)
 少年少女リレー県大会で優勝し全国大会へ出場した有終南小チームの一人。

▷清水 悦朗 (28歳・陽明町)
 社会人バスケットチーム・大野クラブの主将。全国クラブチームバスケット選手権に3年連続出場

▷下口 与一 (70歳・篠座)
 北陸三県中国語弁論大会で優秀賞受賞。中国残留孤児の県内での肉身探しに、11日間も同行通訳。

DATA	
FILE	
	大野人62

▷千田 尚毅 (12歳・高砂町)
 少年少女リレー全国大会へ出場した有終南小チームの一人。連合体育大会でも100_ヤ13秒9。

▷田中 宏治 (11歳・美里町)
 9戦全勝、2年連続で奥越地区小学生の王将位獲得。美濃囲いで守って四間飛車で攻めるのが得意

▷田辺 容 (13歳・泉町)
 中学校連合体育大会1年男子走り高跳びで、1.58_ヤを跳び大会新記録で優勝。来年を楽しみ。

▷土本 謙吾 (12歳・有明町)
 有終東少年野球チームのエース。身長が低いのもものとせず、コントロール抜群の速球派。

▷坪井千奈美 (12歳・中荒井町1)
 県防犯協会主催の防犯ポスターコンクールで知事賞。いところが自転車を盗まれた体験を基にかいた

▷出村 幹英 (15歳・中据)
 日本学生科学賞県審査で最優秀賞に選ばれた上庄中チームのリーダー。山内裕幸君らも参加。

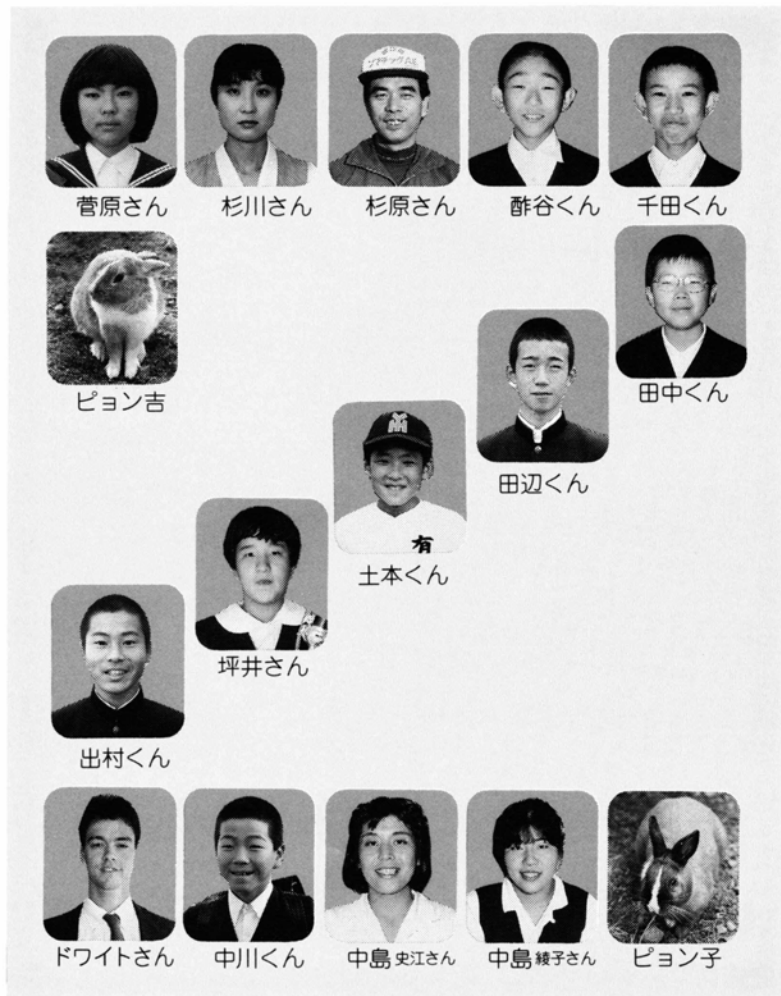
▷ドワイト・ヴァン・ウインクル (24歳・城町)

大野高校などの英語講師。奥越マラソンで選手宣誓。10_キで12位

▷中川 伸治 (11歳・春日2)
 県学童陸上記録会5年男子800_ヤに出場。2分31秒0で優勝。市連体での自己記録を7秒8短縮。

▷中島 史江 (27歳・土打)
 国体ソフトボール競技、福井県女子選抜チームで出場。大和紡時代と通算して国体出場は3回目。

▷中島 綾子 (24歳・土打)
 国体ソフトボール競技、福井県選抜チームの主将を務めた。5番打者でポジションはセンター。



▷菅原 優子 (15歳・吉)
 日本学生科学賞県審査で最優秀賞に選ばれた上庄中チームのリーダー。山田和弘君らも参加。

▷杉川 晴代 (35歳・木本)
 大野勝山地区電話応待コンクール交換取扱者の部で1位。初めての出場を受賞。信用金庫勤務。

▷杉原 貞雄 (33歳・下麻生嶋)
 県ホルスタイン共進会で、愛牛「メリー・マチムラ・ゴールドン」がグランドチャンピオンに。

▷酢谷 友昭 (12歳・天神町)
 少年少女リレー全国大会へ出場した有終南小チームの一人。連合体育大会でも100_ヤ13秒7。

冬場こそ十分な野菜を

保健センターだより

健康な体を維持するためには、野菜を1日300g程度食べることが望ましいのですが、冬はどうしても不足がちになります。雪や寒さに負けず、スキーなど冬のレジャーを思いっきり楽しむためには、何より食事が肝心。今回は、野菜と健康について考えてみましょう。

野菜に含まれる栄養素

野菜にはビタミン（主にA、B₁、C）とミネラル（主に鉄、カリウム、カルシウム）が豊富に含まれています。

ビタミンCは細菌に対する体の抵抗力を高めますし、ビタミンAはがん細胞の増殖を防ぐ働きをされています。また、風邪を予防するためにも不可欠です。

ミネラルのうち、鉄は貧血の予防に欠かせません。というのは、鉄は血液の赤血球に含まれるヘモグロビンとなり、体のすみずみに酸素を供給する働きをするからです。カリウムは、高血圧症の原因となる体内の余分なナトリウムの量を調節する作用があります。また、カルシウムは骨や歯の主成分で、不足すると子どもばかりかお年寄りも骨折しやすい病気（老人性骨粗しょう症）になります。

食物繊維の働きも重要

一方、野菜に含まれている食物繊維の働きも見逃してはなりません。食物繊維は、便通を整えるだけでなく、腸内での発がん性物質の生成を防止するとともに有害物



質の排せつを促します。また、コレステロールの再吸収をも抑制するなど、食物繊維は成人病の予防に大変重要な役割を担っています。

野菜の種類や量が少ない冬は特に、ふだん捨てているカブや大根の葉などもぜひ「おふくろの味」として有効に利用し、野菜不足にならないようにしたいものです。

バラエティーに富む食事を

野菜の栄養素や繊維質は、体を健康に保つ上で重要な働きをするわけですが、毎日野菜ばかりの食事では栄養のバランスが取れません。1日30品目の食品を食べることが理想ですが、穀類やタンパク質の多い肉・魚などでバラエティーに富んだ食事を作り、家族全員が食べるよう心掛けたいものです。

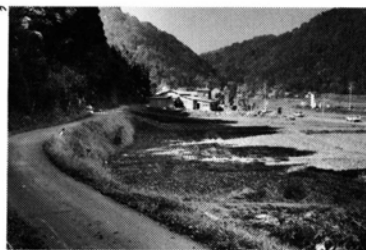


⑪ 花山

大野市農協乾側支所の西側に、国道158号線と並行して美濃街道の旧道が残っています。

明治・大正にかけて人や荷車の往来が盛んで、米穀店、鍛冶屋、菓子店など10軒ばかり店がありました。区長の中村渉さんの家は、酒、とうふ、駄菓子などを売り、「たてば」といって飛脚の中継所でもありました。東隣には、乾側村役場があり、村の中心でもありました。しかし、大正末期に京福電車が開通してからは、この街道もすっかりさびれてしまいました。

この集落が行政区として認められたのは昭和12年で、今年は50周年を迎えます。それで集落の50年のあゆみをまとめることになりました。また花山は伸びゆく県民運



動の「住みたくなるまち、の」に指定され、清潔な環境づくりと集落全体の連帯を強める運動を展開しています。具体的目標として、全員参加と時間励行をかけた、26戸が力を合わせています。この集落は、京福バス坂戸停留所から国道をはさんでニチコン大野工場の北側に至る広い範囲に渡っており、農家は10戸だけなので、会合のち方にも工夫を凝らしています。

ずっと昔は「鼻山」という文字が使われていましたが、いつの間にか現在の「花山」になりました。それにしても、坂戸に近い峠を花山峠と呼ぶのも不思議です。(T)

県保険医協会の テレホンサービス

ハイ医師
電話 0776 (24) 8114

テーマ 1週間サイクルでテーマは毎日変わり、1カ月間繰り返します。12月は①しもやけ・あかぎれ
②骨粗しょう症・軟化症
③声のかすれ④インスリン自己注射⑤百日咳⑥⑦夜や休日に病気になったら
時間 同一テーマは午前9時30分～翌朝9時30分

話題の 交差点

大地の味を満喫 第19回市農林業祭

い 活かそう大地くらしの礎 いざ
農林業、をテーマに、第19回農林業祭が11月7・8日、市民会館一帯で繰り広げられました。両日とも秋晴れの天候に恵まれ出足も好調。訪れた市民は農林産物と子牛の品評会や青果物即売会、米まつりコーナーなどで足を止め、大地の味を満喫していました。



奥越駅伝で 大高が5回目の優勝

第24回奥越駅伝が11月8日開かれ、一般の部に7チーム、高校の部に4チームが参加、市役所前を出発し佐開橋で折り返す42.195kmのコースで接戦を展開しました。大野勢は高校の部で大野高校が2年ぶり5回目の優勝を飾ったほか、一般の部でも大野陸協が3位と健闘しました。



生活設計の講演会

演題 『台所からみた経済』
とき 12月8日(火)午後7時～9時
ところ 市民会館大会議室
講師 永井多恵子さん(NHK解説委員・経済番組『暮らしの経済セミナー』のキャスター)
主催 大野市・大野市貯蓄推進委員会(入場無料)



ひとりより二人 二人より三人の温かさ

11月7日、老人福祉センターで65歳以上の独り暮らし老人71人を招いて、ボランティアとの語らいの会が開かれました。市が社会福祉協議会に委託して行う年8回の給食サービスの一環として行われたもので、和気あいあいのうちにみんなで食事を楽しみました。



ガネッシュ5峰を征服 川嶋の松田靖彦さん



松田靖彦さん(28歳・川嶋)は10月4日、ネパールと中国の国境にそびえるガネッシュヒマールの5峰(6,986m)を前人未踏の南稜ルートから征服、10月25日に無事帰国されました。

8月19日、福井山岳会の4人の仲間とともに大阪空港をたって現地入り。ポーターやコックなどを含め100人のキャラバン隊を編成した後、9月9日には4,300mの地点にベースキャンプを設営しました。その後、第2、第3キャンプを経て、10月4日、松田・渋谷両隊員がシェルパ2人と最後の難所、70度の切り立った氷壁にアタック。4時間に渡る苦闘の末、午後1時30分、ついに頂上を極めました。

「頂上ではガネッシュ1峰だけが見えた。記念撮影の後、すぐ第3キャンプへ引き返した。キャンプに着いてようやく「やったあ!」という感動がわいてきた。今度の68日間の旅で、3年分ぐらいの楽しみを味わった」と語られました。





保育所入所申し込み 26日まで受け付け

63年度の保育所入所申し込みを次のとおり受け付けます。

入所資格 原則として、昭和62年9月30日以前に生まれ、保護者のいずれもが病気や仕事などで保育できない家庭の乳幼児

受付期間 12月1日(火)～26日(土)

手続き 市福祉事務所または最寄りの保育所にある「入所申請書」に必要事項記入の上、関係書類を添えて提出

入所決定 面接と調査を行い、3月上旬に文書で入所の可否を通知

保育所名

(公立) 北部(中荒井町1)・義景(泉町)・春日(春日1)
あかね(中野町1)・荒島(巖

生)・六呂師(南六呂師)
(私立) いとよ(清和町)・上庄(稲郷)・いなやま(春日2)・誓念寺(錦町)・亀山(水落町)・開成(新庄)・誓念寺中野(中野)・篠座(篠座)

詳しくは福祉事務所児童係(☎66-1111内線 477)へお問い合わせください。

家屋取り壊し後は 税務課へ届け出を

62年中に建物を取り壊した人は、今月25日までに「家屋滅失届」を市税務課資産税係(☎66-1111内線

426)へ提出してください。届出用紙は同資産税係にあります。

届け出がないと、引き続き固定資産税がかかることがありますので、ご注意ください。

難病見舞金の申請を

難病と闘っている方々を激励するため、市は特別見舞金を差し上げています。

対象となるのは、1年以上市内に住み、特定の難病のため6カ月以上に渡って入院または通院して治療を受けている人です。

該当される人は、市保健センター(☎65-7333)に備えてある申

二十歳の声をお寄せください

明春、成人式を迎えられる皆さんから「二十歳の声」の論文を募集しています。

この機会に、フレッシュなご意見をぜひお寄せください。

内容 ●二十歳の抱負●私の訴えたいこと●私の選んだ道●同世代への提言●ふるさと大野の魅力と課題●その他、新成人としての感想

字数 400字詰め原稿用紙(縦書き) 5枚以内

期限 昭和62年12月21日(月)

提出先 市教育委員会社会教育課(天神町6-34 ☎66-1111内線 184)または最寄りの公民館へ

応募者全員に記念品を贈るほか、入賞者は成人式の席上で表彰します。

太鼓の妙技披露 県下曲太鼓大会



市文化祭恒例の協賛行事、第5回県下曲太鼓競技大会(奥越太鼓保存会主催)が11月3日、西校体育館で開かれました。奥越太鼓をはじめ今令のハツ杉太鼓、三国の豊年太鼓などの愛好会が見事な技と音を披露、市民の盛んな拍手を浴びていました。

活性化へ一致団結 第1回商店街まつり

市商店街振興組合連合会主催の第1回商店街まつりが11月7・8の両日、有終会館で開かれ、各商店街が趣向を凝らしたコーナーは、お買い得品を求める主婦などで大にぎわいでした。



新しい得意先もできて

おばあちゃんとお小物入れづくり



大野地区子供会育成会連絡協議会主催のちびっ子手作り教室が、11月8日大野公民館で開かれました。大谷きよさん(72歳)らの付きっきりの手ほどきで、参加した25人の子供たち全員が4時間かかりで美しい小物入れのかごを作りあげました。

請書に必要事項を記入して、63年1月16日(土)までに提出してください。

難病の種類について分からない場合なども、保健センターへお気軽に問い合わせてください。

12月4日から人権週間

法務局大野支局(☎66-2249)と大野地区人権擁護委員(下記)は家庭内でや近隣とのめごと、不当な差別扱いやいやがらせ・いじめなど、いろいろな悩みごとについていつでも相談に応じています。

また、次のとおり、月1回定期的に人権擁護委員による「人権相談」を行っています。

人権相談案内

〈日時〉毎月20日の午後1時30分～4時(ただし、20日が金・土・日曜日ときは、次の週の月曜日)

〈場所〉有終会館

人権擁護委員

- 大門俊我(錦町・66-2791)
 - 田中安藝子(天神町・66-4039)
 - 松間妙子(中野町1・65-4212)
 - 中村定一(不動堂・67-1893)
- いずれの相談も費用は無料で、相談者の秘密は固く守られます。

11日から年末年始交通安全運動

無事故で明るい正月を

〓奥越路 無事故でつなごう 行く年来る年、を合言葉に、年末年始交通安全市民運動が12月11日から1カ月間展開されます。

今年は10月1日に県が異例の交通死亡事故多発非常事態宣言をするなど、かつてない交通死亡事故の増加となっています。

特にこれからは飲酒の機会が多くなる上、師走のあわただし

さや正月の解放感、降雪や凍結など危険な要素が多くなります。

無事故で正月を迎え、笑顔の絶えない新年にするために①飲酒運転や無謀運転は絶対しない②積雪・凍結時には、車も歩行者も安全を十分心掛ける③シートベルトやヘルメットは正しく確実に着用するなど、家庭で互いに注意しあっていきましょう。

一人できよくよ悩まず、気軽にご相談ください。

雪まつりの六呂師でデートしませんか

市と市農業委員会は、「ザ・雪まつり体験ツアー・イン大野 〓僕のところへお嫁においで、」と題して農家の独身男性と大阪から招く独身女性の〓ふれあい交流会、を企画、ただいま市内から男性参加者を募集しています。

対象者 おおむね28歳以上の農家の独身男性

募集人数 16人(申し込み順)

応募先 市農業委員会(市役所内 ☎66-1111内線 315)

応募期限 12月25日(金)

負担金 10,000円(宿泊費含む)

交流会日程

〈期日〉63年2月13日(土)～14日(日)六呂師雪まつり当日

〈会場〉大野市農協会館・六呂師スキー場など

〈内容〉♡民宿で郷土料理を囲んでの懇親会♡雪まつりイベント参加♡市内見学など銀世界でのホットな出会いにぜひご参加ください。応募方法など詳しいことは、上記農業委員会事務局へお問い合わせください。

ひとつのお話から 思いおもいの想像

11月8日、図書館で話を聞いて絵をかく会が開かれました。子供たちは図書館のお姉さんの話す「どんびきのもちつき」を聞いたあと、それぞれ好きな場面を想像して絵をかきました。



〓どんびき〓はカエルよ

暴力追放市民会議発足

11月11日、「暴力追放大野市民会議」が発足しました。

これは、9月に行われた暴力追放市民総決起大会での暴力団追放決議を受け、暴力のない明るく住みよいまちづくりを実現するため設立されたものです。

現在、市内の99団体が加盟していますが、息の長い強力な運動を行うために、加盟団体だけでなく市民総ぐるみで暴力追放に立ち上がりましょう。

勤労青少年ホーム祭

「未知への発見」をテーマに第7回〓ホーム祭、が次のとおり開かれます。

とき 12月6日(日)午前10時～午後9時

ところ 勤労青少年ホーム

日程▷サークル対抗ビーチバレー(10.00～)▷サークル発表会(13.00～)▷レクリエーション(14.00～)▷ダンスパーティー(18.00～)
詳細はホーム(☎65-7221)へ。

市民カレンダー

12月10日～12月24日

市民のうごき (11月1日現在)

人口	42,658人 (-9)	対前月比	10月中の異動	転入	39人
男	20,499人 (-11)		転出	51人	
女	22,159人 (+2)		出生	30人	
世帯数	11,274戸 (+2)		死亡	27人	
			結婚	25組	

10(木)	世界人権デー	心配ごと相談 婦人悩みごと相談	9.00～12.00 13.00～16.00	市役所 有終会館
11(金)		母子健康相談 高齢者職業相談	13.00～14.30 13.00～16.00	保健所 下庄公民館
12(土)		金融機関休業日 乳がん予防教室	13.00～15.00	市農協阪谷支所
13(日)		ガソリンスタンド当番 大野若越商事・松田(新町)・大建		
14(月)		金融相談	10.00～16.00	商工会議所
15(火)	年賀郵便 受付開始	社会保険年金相談 1歳半児検診 一般健康相談	10.00～15.00 13.00～14.00 13.00～14.30	織物組合 保健センター 保健所
16(水)		一般健康相談 結婚相談 行政相談	9.00～11.00 10.00～15.00 13.00～16.00	保健所 有終会館 有終会館
17(木)		心配ごと相談 交通事故相談 婦人悩みごと相談	9.00～12.00 10.00～15.00 13.00～16.00	市役所 市役所 有終会館
18(金)		母子健康相談 高齢者職業相談	13.00～14.30 13.00～16.00	保健所 商工会議所
19(土)		金融機関休業日 農業結婚相談 おせち料理教室	13.00～16.00 13.30～16.00	有終会館 職訓センター
20(日)	年末年始 特別警戒	ガソリンスタンド当番 酒井(春日)・赤尾(中野)・松田(月美)		
21(月)				
22(火)	冬 至	一般健康相談	13.00～14.30	保健所
23(水)		一般健康相談 結婚相談 行政相談	9.00～11.00 10.00～15.00 13.00～16.00	保健所 有終会館 有終会館
24(木)		心配ごと相談 婦人悩みごと相談	9.00～12.00 13.00～16.00	市役所 有終会館

公給領収証を忘れずに

県では31日まで「公給領収証完全交付受領運動」を展開しています。皆さんが料理店や飲食店、旅館などを利用された時には、必ず公給領収証を受け取りましょう。

今月の納税

固定資産税 第3期分
25日までに納めてください。

おせち料理教室

とき 12月19日(土) 午後1時
30分～4時
ところ 地域職業訓練センター(農
協会館前 ☎65-6840)
定員 25人
受講料 1,500円
申し込み 12月15日(火)までに
受講料を添え同センターへ

献血	10.00～15.00	大野高校
健康体操教室	13.00～15.30	保健センター

発行 福井県大野市

編集

企画広報課(電話

66-1111)

印刷

(株)松浦印刷



月めくりのカレンダーもあと一枚だけになった。師走の声を聞くとかあわたしさが感じられるが、一年を振り返って反省する月でもある▼九月には、大野青年会議所が主催して「雪のふるまちシンポジウム in 大野」が開かれた。雪のふる各県の青年が集まり、活雪・親雪・遊雪の三分科会に分かれて討議したことは意義深いものがある▼十月には、大野商工会議所と市商店街振興組合連合会が主催して「地域商業と観光の活性化シンポジウム」が開かれた。停滞したムードをはね返して、何とか活路を探ろうとする意欲が感じられた▼来年八月には、大野市が主催して第四回全国水環境保全シンポジウムが開かれる。全国規模の行事だけにその準備は大変であろう▼雪のシンポジウムのときに、日本ふるさと塾主宰の萩原茂裕氏は基調講演をされた。大野で話されるのは二回目だが、一貫した主張は変わらなかつた。端的には聴くだけでなく実践しないといけないことだつたが、謙虚に受け止めねばなるまい▼萩原氏のもう一つの主張は、何をどうするかか決断はそこに住む人たちがすべきことで、第三者は知恵を貸すにすぎないということだ▼二つのシンポジウムで学んだことは、行政と民間(地域住民)が一体となつて歩調を合わせることに、アイデアを生かしたパンチの利いた施策が重要だということである。来年の飛躍を期して、みんな力で合わせたい。

(丁)